



プロ エスポラーダ北海道出前授業
プロの技を目に焼き付けて

フットサルの国内トップリーグ(Fリーグ)に参加している『エスポラーダ北海道』による出前授業が、6月12日に真龍小学校で行われ、5年生45人が参加しました。フットサルとは、1チーム5人で競技するミニサッカー。厚岸町出身で真龍小学校卒業の宮原勇哉選手も参加し、児童と一緒にウォーミングアップをして、ドリブルやシュートのお手本を見せながら基礎練習を指導しました。プロの技術を直接見て、将来の夢を膨らませていました。

い 小児救命講習
いざという時のために…

6月8日、子育て支援センターで『小児救命講習』が行われ、20人が参加しました。厚岸消防署の救急隊員を講師に、子どもの事故に対する救急対応や救命措置についての講習を受けました。講師の手本を見てから、赤ちゃんと子どもの人形を使い、心肺蘇生法やAEDの使用方法を習得。参加者は小さな体への心臓マッサージを恐る恐る行いながらも、いざという時のために学んでいました。



懐 厚岸高校傘寿を祝う同期会
懐かしい仲間と再会

5月22日、昭和29年に道立厚岸高校を卒業した同期生が、傘寿(80歳)を祝う同期会を開催しました。普通・製造・漁業科合わせて117人の同期生のうち、この日は20人が参加。この同期会の発起人を代表して織田勝二さんが「こうして同期会が開けるのは健康だからこそ。たくさん思い出話をしましょう」とあいさつ。東京厚岸会の会長を務める宗石亨さんは「5年後にでも集まりたい」と話し、参加者は尽きることない思い出話を花を咲かせていました。

夢 潮干狩り体験
夢中でアサリを掘りました!

厚岸漁業協同組合と厚岸観光協会による、厚岸湖のアサリ漁場を一部開放した『渚!体験!潮干狩り!』が6月7日と21日に行われました。両日合わせて町内外から714人が潮干狩り体験を楽しみ、北海道第一位の生産量を誇るとても大きな厚岸産のアサリを収穫しました。配られた容器がいっぱいになり、追加で持ち帰りを希望する人も。服が汚れるのも気にせず、夢中でアサリを掘っていました。



イベントや活動など、まちのニュースをお届けします



豊 厚岸町民の森植樹祭
豊かな自然を後世に

5月31日、太田地区の町有林において、『厚岸町民の森植樹祭』が開催され、晴天の下、標茶町や厚岸町から606人が参加しました。植樹祭では、記念としてニトリザクラを5本と、アオダモ・ミズナラ・ヤチダモなど、計2,250本を植樹しました。親子連れや夫婦、職場仲間、厚岸翔洋高校の生徒らが参加し、1本1本ていねいに植樹しました。毎年参加している人も多く、慣れた手付きで作業は進み、植樹のあとは、地産地消メニューの昼食を食べ、参加者からは笑みがこぼれていました。

美 アメリカンフラワー教室
美しい造花のアヤメを制作

全国市町村あやめサミット開催記念事業のアメリカンフラワー教室が、西村由美子さんを講師に6月12日と13日の2日間に渡って開催され、10人が参加しました。葉や花びらに形づくったワイヤーに合成樹脂を付け、乾燥したら組み合わせてアヤメに形づくる作業を、2日に分けて行いました。難しい作業もありましたが、楽しみながら制作しました。このアヤメの造花はアヤメサミットの会場に、町内小中学生が作った『あやめ折り紙』とともに展示されます。



白 町民ソフトボール大会
球を追いかける熱い戦い

6月7日、宮園公園野球広場で第62回町民ソフトボール大会が開催され、職場や地域単位で出場した11チームが熱戦を繰り広げました。試合はトーナメント方式で行われ、家族や職場の同僚の熱い声援が飛び交う中、選手は優勝を目指し、さわやかな汗を流しました。
【試合の結果(一般男子の部)】
優勝=王者 浜野水産 湾月(3年連続)、準優勝=スーパードライ 湾月、第3位=ファイヤーズジュニア